

1月6日に卒業生が来校され新しくなった校舎や実習棟を見学して、校長室で在校当時の様子を話して帰られました。



嘉儀浩一さん（写真左）と三国保雄さん（写真右）はお二人とも昭和27年3月に機械科を卒業し、今年84歳になられます。昭和21年に今市工業学校へ入学し、その後学制改革があり、出雲商工高等学校、出雲産業高等学校と校名が変わる激動の中、6年間過ごしたとのことでした。年齢を感じさせないしっかりした口調で当時の様子を説明され、校長は「併設中学校の意味がやっとわかった」と喜んでいました。